

お客様各位

カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願ひ申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日

ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

RENESAS TECHNICAL UPDATE

〒100-0004 東京都千代田区大手町 2-6-2 日本ビル
株式会社 ルネサス テクノロジ問合せ窓口 <http://japan.renesas.com/inquiry>E-mail: csc@renesas.com

製品分類	MPU&MCU	発行番号	TN-16C-A151A/J	Rev.	第1版
題名	M32C/80 シリーズ インテリジェント I/O クロック非同期形シリアル I/O(UART) モードに関するドキュメントの訂正		情報分類	技術情報	
適用製品	M32C/81 グループ、M32C/82 グループ M32C/83 グループ、M32C/84 グループ M32C/85 グループ、M32C/86 グループ M32C/87 グループ、M32C/88 グループ	対象ロット等	関連資料		

G0TMCR2 レジスタ(グループ 0 時間計測制御レジスタ 2)、G1TMCR2 レジスタ(グループ 1 時間計測制御レジスタ 2)の設定値に訂正がありますのでお知らせいたします。

対象ドキュメントをご使用の際は、ご留意のほどよろしくお願いたします。

1. 対象ドキュメント

- M32C/83 グループ(M32C/83, M32C/83T) ハードウェアマニュアル Rev.1.30
- M32C/84 グループ(M32C/84, M32C/84T) ハードウェアマニュアル Rev.1.10
- M32C/85 グループ(M32C/85, M32C/85T) ハードウェアマニュアル Rev.1.03
- M32C/86 グループ(M32C/86, M32C/86T) ハードウェアマニュアル Rev.1.00
- M32C/87 グループ(M32C/87, M32C/87A, M32C/87B) ハードウェアマニュアル Rev.1.00
- M32C/88 グループ(M32C/88T) ハードウェアマニュアル Rev.1.00

2. 訂正箇所

対象ドキュメントの修正箇所を次のページより記載します。

M32C/83グループ(M32C/83, M32C/83T) ハードウェアマニュアル Rev.1.30

訂正箇所 P297(表 21.23)

(誤) "0000 0010₂"

(正) "0000 0011₂"

表21.23 グループ0、1のUARTモード時の使用レジスタと設定値

レジスタ	ビット	機能
GiBCR0	BCK1 ~ BCK0	"11 ₂ " にしてください
	DIV4 ~ DIV0	カウントソースの分周比を選択してください
	IT	"0" にしてください
GiBCR1	7 ~ 0	"0001 0010 ₂ " にしてください
GiPOCR0	7 ~ 0	"0000 0111 ₂ " にしてください
GiPOCR2	7 ~ 0	"0000 0110 ₂ " にしてください
GiPOCR3	7 ~ 0	"0000 0010 ₂ " にしてください
GiTMCR2	7 ~ 0	"0000 0010 ₂ " にしてください
GiPO0	15 ~ 0	転送速度を設定します $\frac{f_{BTi}}{2 \times (\text{設定値} + 2)}$ が転送クロック周波数になります
GiPO3	15 ~ 0	GiPO0の設定値より小さい値を設定してください
GiFS	FSC3 ~ FSC0	"0100 ₂ " にしてください
GiFE	IFE3 ~ IFE0	"1101 ₂ " にしてください
GiMR	GMD1 ~ GMD0	"00 ₂ " にしてください
	CKDIR	"0" にしてください
	STPS	ストップビット長を選択してください
	UFORM	LSBファースト、またはMSBファーストを選択してください
	IRS	受信割り込み要因を選択してください
GiCR	TI	送信バッファ空フラグ
	TXEPT	送信レジスタ空フラグ
	RI	受信完了フラグ
	TE	送信を許可する場合、"1" にしてください
	RE	受信を許可する場合、"1" にしてください
	IPOL	"1" にしてください
	OPOL	"1" にしてください
GiTB	7 ~ 0	送信データを書いてください
GiRB	15 ~ 0	受信データとエラーフラグが格納されます

i=0 ~ 1

M32C/84グループ(M32C/84, M32C/84T) ハードウェアマニュアル Rev.1.10

訂正箇所 P304(表 22.22)

(誤) "0000 0010₂"

(正) "0000 0011₂"

表22.22 通信部1のUARTモード時の使用レジスタと設定値

レジスタ	ビット	機能
G1BCR0	BCK1 ~ BCK0	" 11 ₂ " (f1)にしてください
	DIV4 ~ DIV0	カウントソースの分周比を選択してください
	IT	" 0 " にしてください
G1BCR1	-	" 0001 0010 ₂ " にしてください
G1POCR0	-	" 0000 0111 ₂ " にしてください
G1POCR2	-	" 0000 0110 ₂ " にしてください
G1POCR3	-	" 0000 0010 ₂ " にしてください
G1TMCR2	-	" 0000 0010 ₂ " にしてください
G1PO0	-	転送速度を設定します $\frac{f_{BT1}}{2 \times (\text{設定値} + 2)}$ が転送クロック周波数になります
G1PO3	-	G1PO0の設定値より小さい値を設定してください
G1FS	FSC3 ~ FSC0	" 0100 ₂ " にしてください
G1FE	IFE3 ~ IFE0	" 1101 ₂ " にしてください
G1MR	GMD1 ~ GMD0	" 00 ₂ " にしてください
	CKDIR	" 0 " にしてください
	STPS	ストップビット長を選択してください
	PRY、PRYE	パリティの有無、奇数偶数を選択してください
	UFORM	LSBファースト、またはMSBファーストを選択してください
	IRS	受信割り込み要因を選択してください
G1CR	TI	送信バッファ空フラグ
	TXEPT	送信レジスタ空フラグ
	RI	受信完了フラグ
	TE	送受信を許可する場合、" 1 " にしてください
	RE	受信を許可する場合、" 1 " にしてください
	IPOL	" 1 " にしてください
	OPOL	" 1 " にしてください
G1TB	-	送信データを書いてください
G1RB	-	受信データとエラーフラグが格納されます
CCS	CCS3 ~ CCS2	" 00 ₂ " にしてください

M32C/85グループ(M32C/85, M32C/85T) ハードウェアマニュアル Rev.1.03

訂正箇所 P302(表 22.22)

(誤) "0000 0010₂"

(正) "0000 0011₂"

表22.22 通信部1のUARTモード時の使用レジスタと設定値

レジスタ	ビット	機能
G1BCR0	BCK1 ~ BCK0	" 11 ₂ " (f ₁)にしてください
	DIV4 ~ DIV0	カウントソースの分周比を選択してください
	IT	" 0 " にしてください
G1BCR1	-	" 0001 0010 ₂ " にしてください
G1POCR0	-	" 0000 0111 ₂ " にしてください
G1POCR2	-	" 0000 0110 ₂ " にしてください
G1POCR3	-	" 0000 0010 ₂ " にしてください
G1TMCR2	-	" 0000 0010 ₂ " にしてください
G1PO0	-	転送速度を設定します $\frac{f_{BT1}}{2 \times (\text{設定値} + 2)}$ が転送クロック周波数になります
G1PO3	-	G1PO0の設定値より小さい値を設定してください
G1FS	FSC3 ~ FSC0	" 0100 ₂ " にしてください
G1FE	IFE3 ~ IFE0	" 1101 ₂ " にしてください
G1MR	GMD1 ~ GMD0	" 00 ₂ " にしてください
	CKDIR	" 0 " にしてください
	STPS	ストップビット長を選択してください
	PRY、PRYE	パリティの有無、奇数偶数を選択してください
	UFORM	LSBファースト、またはMSBファーストを選択してください
	IRS	受信割り込み要因を選択してください
G1CR	TI	送信バッファ空フラグ
	TXEPT	送信レジスタ空フラグ
	RI	受信完了フラグ
	TE	送受信を許可する場合、" 1 " にしてください
	RE	受信を許可する場合、" 1 " にしてください
	IPOL	" 1 " にしてください
	OPOL	" 1 " にしてください
G1TB	-	送信データを書いてください
G1RB	-	受信データとエラーフラグが格納されます
CCS	CCS3 ~ CCS2	" 00 ₂ " にしてください

M32C/86グループ(M32C/86, M32C/86T) ハードウェアマニュアル Rev.1.00

訂正箇所 P293(表 22.22)

(誤) "0000 0010₂"

(正) "0000 0011₂"

表22.22 通信部1のUARTモード時の使用レジスタと設定値

レジスタ	ビット	機能
G1BCR0	BCK1 ~ BCK0	" 11 ₂ " (f ₁)にしてください
	DIV4 ~ DIV0	カウントソースの分周比を選択してください
	IT	" 0 " にしてください
G1BCR1	-	" 0001 0010 ₂ " にしてください
G1POCR0	-	" 0000 0111 ₂ " にしてください
G1POCR2	-	" 0000 0110 ₂ " にしてください
G1POCR3	-	" 0000 0010 ₂ " にしてください
G1TMCR2	-	" 0000 0010 ₂ " にしてください
G1PO0	-	転送速度を設定します $\frac{f_{BT1}}{2 \times (\text{設定値} + 2)}$ が転送クロック周波数になります
G1PO3	-	G1PO0の設定値より小さい値を設定してください
G1FS	FSC3 ~ FSC0	" 0100 ₂ " にしてください
G1FE	IFE3 ~ IFE0	" 1101 ₂ " にしてください
G1MR	GMD1 ~ GMD0	" 00 ₂ " にしてください
	CKDIR	" 0 " にしてください
	STPS	ストップビット長を選択してください
	PRY、PRYE	パリティの有無、奇数偶数を選択してください
	UFORM	LSBファースト、またはMSBファーストを選択してください
	IRS	受信割り込み要因を選択してください
G1CR	TI	送信バッファ空フラグ
	TXEPT	送信レジスタ空フラグ
	RI	受信完了フラグ
	TE	送受信を許可する場合、" 1 " にしてください
	RE	受信を許可する場合、" 1 " にしてください
	IPOL	" 1 " にしてください
	OPOL	" 1 " にしてください
G1TB	-	送信データを書いてください
G1RB	-	受信データとエラーフラグが格納されます
CCS	CCS3 ~ CCS2	" 00 ₂ " にしてください

M32C/87グループ(M32C/87, M32C/87A, M32C/87B) ハードウェアマニュアル Rev.1.00

訂正箇所 P333(表 22.26)

(誤) "0000 0010₂"

(正) "0000 0011₂"

表22.26 グループ1のUARTモード時の使用レジスタと設定値

レジスタ	ビット	機能
G1BCR0	BCK1 ~ BCK0	"112" (f1)にしてください
	DIV4 ~ DIV0	カウントソースの分周比を選択してください
	IT	"0" にしてください
G1BCR1	-	"0001 0010 ₂ " にしてください
G1POCR0	-	"0000 0111 ₂ " にしてください
G1POCR2	-	"0000 0110 ₂ " にしてください
G1POCR3	-	"0000 0010 ₂ " にしてください
G1TMCR2	-	"0000 0010 ₂ " にしてください
G1PO0	-	転送速度を設定します $\frac{f_{BT1}}{2 \times (\text{設定値} + 2)}$ が転送クロック周波数になります
G1PO3	-	G1PO0の設定値より小さい値を設定してください
G1FS	FSC3 ~ FSC0	"0100 ₂ " にしてください
G1FE	IFE3 ~ IFE0	"1101 ₂ " にしてください
G1MR	GMD1 ~ GMD0	"00 ₂ " にしてください
	CKDIR	"0" にしてください
	STPS	ストップビット長を選択してください
	UFORM	LSBファースト、またはMSBファーストを選択してください。
	PRY、PRYE	パリティの有無、偶数/奇数を選択してください。
	IRS	受信割り込み要因を選択してください
G1CR	TI	送信バッファ空フラグ
	TXEPT	送信レジスタ空フラグ
	RI	受信完了フラグ
	TE	送受信を許可する場合、"1" にしてください
	RE	受信を許可する場合、"1" にしてください
	IPOL	"1" にしてください
	OPOL	"1" にしてください
G1TB	-	送信データを書いてください
G1RB	-	受信データとエラーフラグが格納されます
CCS	CCS3 ~ CCS2	"00 ₂ " にしてください

M32C/88グループ(M32C/88T) ハードウェアマニュアル Rev.1.00

訂正箇所 P278(表 21.22)

(誤) "0000 0010₂"

(正) "0000 0011₂"

表22.22 通信部1のUARTモード時の使用レジスタと設定値

レジスタ	ビット	機能
G1BCR0	BCK1 ~ BCK0	" 11 ₂ " (f ₁)にしてください
	DIV4 ~ DIV0	カウントソースの分周比を選択してください
	IT	" 0 " にしてください
G1BCR1	-	" 0001 0010 ₂ " にしてください
G1POCR0	-	" 0000 0111 ₂ " にしてください
G1POCR2	-	" 0000 0110 ₂ " にしてください
G1POCR3	-	" 0000 0010 ₂ " にしてください
G1TMCR2	-	" 0000 0010 ₂ " にしてください
G1PO0	-	転送速度を設定します $\frac{f_{BT1}}{2 \times (\text{設定値} + 2)}$ が転送クロック周波数になります
G1PO3	-	G1PO0の設定値より小さい値を設定してください
G1FS	FSC3 ~ FSC0	" 0100 ₂ " にしてください
G1FE	IFE3 ~ IFE0	" 1101 ₂ " にしてください
G1MR	GMD1 ~ GMD0	" 00 ₂ " にしてください
	CKDIR	" 0 " にしてください
	STPS	ストップビット長を選択してください
	PRY、PRYE	パリティの有無、奇数偶数を選択してください
	UFORM	LSBファースト、またはMSBファーストを選択してください
	IRS	受信割り込み要因を選択してください
G1CR	TI	送信バッファ空フラグ
	TXEPT	送信レジスタ空フラグ
	RI	受信完了フラグ
	TE	送受信を許可する場合、" 1 " にしてください
	RE	受信を許可する場合、" 1 " にしてください
	IPOL	" 1 " にしてください
	OPOL	" 1 " にしてください
G1TB	-	送信データを書いてください
G1RB	-	受信データとエラーフラグが格納されます
CCS	CCS3 ~ CCS2	" 00 ₂ " にしてください